手紙

慶応二年八月十三日　森玄道、伊藤助太夫あて

坂本龍馬

青空文庫

尚下の事件ハ三吉兄にも御申奉願候。

一筆啓上益御勇壮大賀至極奉存候。

扨時勢の事ハ一二、三吉兄の方に申上候間、御聞取可被遣候。扨此度使さし出候事ハ誠に小事件の可笑事ながら、又　御面遠を願奉るべしと希望仕候。其故ハ長崎の者小曽根英四郎と申売人、七月廿八日大坂の方より関に著船仕候。どふか其者ハ大坂町奉行より長崎(タテ)(ニシ)健山奉行への手紙を懐中仕候よし、尤御召捕ニ相候はずの御事ニ候。然ニ彼者本ト悪心無之ものにて候。其故近日菅野角兵衛が蒸気船より関に参り候間、くハ敷申上候。本ト此小曽根なるものハ長崎ニては長州御屋鋪御出入の家なり。又此頃乙丑丸の用達を薩より申付候内ニて、浪士等長崎ニ出てハ、此小曽根をかくれ家と致し居候ものも在之、既私らもひそみ居候事ニ候間、悪心無之事ハ是レヲ以御察可被遣候。

然レ共、軍法として敵国ニ通じ候ものハ、先ヅ一ト先ヅ召捕とり正シ方仕候ハ当然の事ニ候得バ、此上疑相はれ候得バ、何卒御返の御周旋奉願候。且又猶ヲ嫌疑の筋も在之候得バ、其まゝ御止置□まゝ其筋御通書被下候よふ奉願候。然時ハ薩州人さし立テ御受取申、薩屋鋪ニ所置仕度、何卒よろしく奉願候。

先ハ右斗早　万　稽首　百拝。

八月十三日　　龍馬

玄道様

助太夫様

近日私しも早　関と心がけ候うち、小倉早落城も敵がなくなりしかと思へバ、誠ニ残念ニて先、長崎ニ止りおり候。何レ近日、

再拝〳〵。

青空文庫情報

底本：「龍馬の手紙」宮地佐一郎、講談社学術文庫、講談社
2003（平成15）年12月10日第1刷発行
2008（平成20）年9月19日第7刷発行
※底本手紙の写真のキャプションに、（東京　伊藤家文書）とあります。
※丸括弧付きの語句は、底本編集時に付け加えられたものです。
※直筆の手紙の折り返しに合わせた改行は、省いて入力しました。
入力：Yanajin33
校正：Hanren
2010年7月28日作成
2011年6月17日修正
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

手紙

慶応二年八月十三日　森玄道、伊藤助太夫あて

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　坂本龍馬
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/